

トップメッセージ



ユーコープ事業連合 理事長

當具 伸一

国連は、2012年を「国際協同組合年」とする総会決議を採択し、これまでの協同組合の活動を高く評価しました。また、「新しい公共」の論議などで非営利セクターへの期待が高まっています。この背景には、ベルリンの壁崩壊による社会主義計画経済システムの破綻、そして、サブプライムローンの破綻からリーマンショックにいたる過程で明らかになった行き過ぎた市場主義システムの行き詰まりに直面して、あらためて人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現のために、協同組合の価値・仕組みが有効であると多くの人たちが思い始めていることがあります。

協同組合のアイデンティティに関するICA声明では協同組合の価値として「自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。」と定めています。

私たちも協同組合の一員として、「福祉」「地球環境問題」「健康」など、多くの組合員と地域社会が直面している課題に一步一步地道に取り組んでいます。

昨年の「店内調理品ロースカツの不適切な扱い」では多くの消費者や組合員の期待を裏切ることとなり、コープの存在意義が問われました。あらためて皆さまにおわびを申し上げます。組合員理事を中心とする組合員改善委員会からの提言も受け、組織全体で何が問題だったのかをえぐりだし、商品の品質管理をはじめ、働き方そのものを見直してまいりました。改めて法令など社会的ルールや自ら決めたことをしっかり順守するとともに、本来の価値観に立ち戻り仕事をしてまいります。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では多くの尊い命が犠牲になりました。被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。コープは全国の生協、日本生協連とともに被災地の支援に努めてまいりました。

今回の震災をきっかけに改めて「つながり・絆・助け合い」といった価値観の大切さが、多くの人たちの共通の思いとしてクローズアップされてきました。これらの価値観は協同組合が大切にしてきたものと全く同じであり、これからの社会づくりの中で最も必要とされるものです。

私たちコープは組合員の暮らしを守るとともに行政や地域諸団体・生産者、お取引先とのネットワークを通じてくらしやすい地域社会づくりに役割を果たしていかなければいけないと強く決意をしております。